

# 日英合同礼拝プログラム

2018年12月9日

祈禱：OPENING PRAYER

賛美：PRAISE TIME

献金：PRESENTATION OF TITHES AND OFFERINGS  
SONG OF OFFERING

メッセージ MESSAGE：

## GOD'S LOVE FOR THE WORLD

本多一米師

“For God so loved the world, that He gave His only begotten Son, that whoever believes in Him shall not perish, but have eternal life.”

「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである」  
(ヨハネ3章16節)

賛美：SONG OF RESPONSE

祝禱：CLOSING PRAYER

アッシャー：福島姉、ピアス姉

グリーター：井口姉、ウィットワース姉

ナーサリー：本多姉、ウィットワース姉

セキュリティー：ウィットワース兄

## 来週、16日の礼拝

司会：町田兄 奏楽：石塚姉 通訳：石塚兄

メッセージ：「クリスマスとは何ですか」

賛美：新聖歌87、新聖歌79

アッシャー：ラッド姉、大野姉

グリーター：須波姉、パークスデール姉、

ナーサリー：川久姉、プロクター姉

チルドレンチャーチ：テリケス姉、奏姉

セキュリティー：川久兄

## おしらせ

本日の礼拝後の予定  
クリスマスランチ、クリスマスプログラム

■本日の礼拝によろこそいらっしやいました。教会について、集会、信仰、キリスト教等について、ご質問がある方はお気軽に牧師までおたずねください。

■今日は日英合同礼拝の後、クリスマスランチ、そしてクリスマスプログラムを楽しみ、主のご降誕をお祝いします。子供達のプログラム、ゴスペルフラ、コワイヤーの皆さんがこの日のために練習をしてきました。主の御名が崇められますように！

■今週金曜日、午後7時より日語キャンドルサービスをもちます。皆で主のご降誕を喜び、賛美しましょう。このために定期の水曜集会、木曜集会はおやすみです。

■1月12日(土)、オレンジ郡教会にて新年聖会がもたれます。今年は「こおんな旅がしたい」(イザヤ43:19)というテーマのもと、バンクーバー日系人福音教会の福迫徹也牧師をお招きしています。参加希望の方は英子姉までチェック(宛先は SDJCC でメモ欄に Shinnenseikai)と共に申込書をお渡してください(締め切りは1月6日)

## 今週の予定

14日(金) ななみ会 10:00am-  
キャンドルライトサービス 7:00pm-  
会報発行日

15日(土) 羊の会 10:30am-  
ユースクリスマス 5:00pm-

## おしらせ

『主のいつくしみは絶えることがなく、そのあわれみは尽きることがない。これは朝ごとに新しく、あなたの真実は大きい』(哀歌3章2節-23節)

アメリカに住んで延べ25年、このシーズンになると色々な思いが心にわいてきます。

サンクスギビングはその名の通り、感謝の心を取りもどすべき日なのに、その日が近づくにつれ、いたるところで「これが足りない」「あれは古い」「これは小さい」「それは遅い」というアピール商戦。これらのことは結局のところ「あなたの今の現状は不十分だ」ということで、この絶え間ないアピールにうながされて私達の心には感謝と対極にある思いが沸々とわいてきます・・・。

クリスマス(CHRISTmas)とはその名の通り、神様からの最大のギフトであるイエス・キリストを喜ぶ時なのに、その神様からのギフトには目もくれずに、私達は諸々のギフトを求めて奔走します。あたかもそれらのギフトが私達を慰め、そこに恒久的な幸いがあるとでもいうかのように・・・。

神様が既に私達に与えてくださっていることは何と大きな愛と恵みに満ちた感謝すべきことなのか、神様がイエス・キリストという、どんなに大きなギフトを私達に与えてくださっているのか、これらのことを思いめぐらすことこそが、このシーズンの本来の過ごし方ではないかと思うのですが、いかがでしょうか。このようなことを私達は「原点にかえる」と呼んでいるのです。